

医学雑誌「PEPARS」掲載のお知らせ 札幌院院長・前多医師、下眼瞼の美容外科について執筆

「とことん真面目に、美容医療。」をスローガンに、高品質な美容医療を提供する 聖心美容クリニック（<https://www.biyougeka.com/> 医療法人社団美翔会 本院所在地：東京都港区六本木 全国11院）の札幌院院長 前多一彦医師が、形成外科の専門誌「PEPARS」にて『表ハムラ+a法』について執筆しました。

■PEPARS（ペパース）とは

毎回1つのテーマについて、その道のエキスパートである医師陣が実践的なテクニックを解説する、形成外科の専門誌です。形成外科医・美容外科医にとって、技術力向上のための重要な情報源となっています。

- ・掲載号 : No.213(2024年9月号) 特集「下眼瞼の美容外科」
- ・タイトル : 表ハムラ+a法
- ・公式サイト : https://www.zenniti.com/f/b/list/zc01/5/oa_table/b_z.html

■表ハムラ+a法とは

下まぶたのたるみやくまを改善する手術である「表ハムラ」の変法として、聖心美容クリニック札幌院の前多院長が約20年にわたり改善を重ねる術式です。

■前多 一彦（まえだ かずひこ）医師について

常により良い技術を研鑽し「表ハムラ+a法」他、多くのオリジナル術式を開発。美容医療のエキスパートとして様々な医学誌等への執筆や学会発表も行う、聖心美容クリニックのトップドクターのひとりです。

<資格> ※一部抜粋

医学博士

日本美容外科学会（JSAS）専門医

日本形成外科学会専門医

<経歴>

1992年 国立旭川医科大学卒業北海道大学医学部附属病院 形成外科入局

1999年 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター形成・美容外科部長を歴任

2001年 医業と両立しながら北海道大学大学院医学研究科にて研究に従事

2005年 大手美容外科に勤務、理事長・札幌院院長・診療部長を歴任

2008年 聖心美容クリニックに入職。東京院を経て札幌院院長に就任

<学会活動> ※一部抜粋

2024年5月 第112回 日本美容外科学会(JSAS) 『中高齢者の Baggy Eye 症例に対する治療戦略』
『美容外科医が知っておくべき再生医療』

2023年6月 第147回 日本美容外科学会(JSAPS) 学術集会 『私が行う：目頭切開+a法』

2023年5月 第111回 日本美容外科学会(JSAS) 『私が行う：鼻翼縮小術+a 法』

2022年9月 第145回 日本美容外科学会(JSAPS) 学術集会 『Rejuvenation「眼下眼瞼」』



■ 聖心美容クリニックについて

「とことん真面目に、美容医療。」をスローガンに、美容外科業界の透明性を高めると共に、美容再生医療を全国に先駆けて導入するなど、日本を代表する美容医療業界のリーディングクリニックとして、患者さまに寄り添った提案・施術を施しています。

おかげさまで、2023年に開院30周年を迎えました。

- ・所在地：札幌、六本木、銀座、渋谷（S-Labo）、大宮、横浜、熱海、名古屋、大阪、広島、福岡
- ・創業：1993年10月
- ・公式HP：<https://www.biyoungeka.com>

■ ビデオ会議・電話・メールでの取材も可能です。

聖心美容クリニックおよびS-Laboクリニックでは、医師への取材を積極的にお受けしております。対面の他、メール・ビデオ会議・お電話等の取材にも柔軟に対応しております。

<本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ・取材依頼>
聖心美容クリニックPR事務局（株式会社メディクルード内）
TEL:03-5770-5277 /MAIL：info@mediclude.jp